

Domnung Pii SCHEC

ドムヌン ピー シェック SCHEC

～ シェックからの便り～

第4号(2005年7月号)

NPO法人カンボジアの健康及び
教育と地域を支援する会(SCHEC)

〒160-0004

東京都新宿区四谷4 3 29

伸治ビル4階

Tel・Fax 03 5368 6387

<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~SCHEC/>

こんにちは、NPO 法人SCHECでは、毎年、11月と3月にカンボジアへ赴き、歯科医による歯科診療活動や、井戸の設置状況の視察、小学校の建設事業の確認などを行っています。今回は05年3月の活動を中心にご報告致します。

28名の気持ちが一校の小学校に ～センソック・サンキム小学校開校～



【新しい校舎を前にしての開校式】

SCHEC 学校建設事業第5校目となるセンソック・サンキム小学校の開校式が、05年3月20日、シェムリアップ州クローライン郡センソック地区チュラニャン村で行われました。

シェムリアップの中心部からは西へ約70キロ、バスで2時間近くという市街地からはかなり離れた



農村での開校式でしたが、これまで教室数が

【開校式では子供たちによる伝統舞踊も披露された】

不足していたため学校へ通えなかった百数十名の児童があらたに学校に通えることになり、近隣住民の方々も多数詰めかけてくださいました。

この小学校の建設資金は、「ぜひともカンボジアの子どもに小学校を」と28名の方々から戴いた小口のご寄付、合計1万5千ドルと、SCHEC

のパートナーであるシェムリアップ州選出のカンボジア国会議員シアン・ナム氏のご寄附くださった1万2千ドルをあわせて調達されました。

校名の「サンキム」はカンボジア語で「希望」という意味の言葉です。

開校式では、ノートや鉛筆などの文房具のほか、教師が授業で使うコンパス、定規、世界地図、地球儀なども寄贈しま

した。

街から遠く離れた田舎の小学校ということもあり、初めて見る外国人の集団に硬い表情の子も多かったのですが、SCHECのボランティアのみなさんがノートなどを配りはじめると、嬉しそうにこりとしてくれたのが印象的でした。

内戦の傷跡から復興しつつあるカンボジアに必要なのは何よりも子供たちへの教育です。

SCHECでは引き続き、小学校校舎建設支援活動に力を入れていきたいと思っています。



【笑顔で迎えてくれた児童生徒】

井戸掘り報告

-山崎理事現地レポート-

乾季も終わりかけの今年3月、筆者自身3度目となる現地での井戸掘り支援活動に行ってきました。

回を重ねるごとにシェムリアップの中心部から離れていく印象がありましたが、今回は毎日バスで1時間以上揺られて井戸の視察に行くという強行軍となりました。

3日間をかけて70本の井戸の完成状況を視察してきましたが、特に問題のある井戸は見あらず、どの井戸も既に生活拠点として周辺の農家の人びとに活用されていました。カンボジアの人たちは礼儀正しく、且つ慎み深いので、私たちが視察に訪れると、慌てて井戸の周りに
(次頁に続く)

次回学校建設地は・・・

次回(05年11月)学校建設予定地となっているシェムリアップ州クレン郡ポンロックロム村のプローン小学校を視察してきました。

同校は、シェムリアップの中心部から東へ国道沿いに60キロ、さらに国道から13キロ程入ったところに

ありました。現在は木造の崩れそうな2教室の校舎に、午前・午後の二部制で約300名の小学生が通っていますが、約500名の小学生が教室不足のために学校へ通えず、待機しているという状況でした。次号で開校式の様子を詳しくご報告致します。

(前頁より)

干してある洗濯物や食器などを片づけてしまいます。

綺麗な水を自由に使えるようになった近隣の人びとの顔には明るさが溢れていました。カンボジアの農村を歩くと、綺麗な水が無いことによる眼病疾患、皮膚疾患の人が多くことに驚きますが、新しい井戸が少しでもその改善に資するとすれば嬉しいことです。

井戸を視察に回ると、今回井戸が設置されなかった家の人たちが集まって来て、「自分の家にも井戸を設置してほしい」と訴えてきます。もちろん1軒1軒に井戸が行き渡ることが理想ですが、いまだ1つの井戸も設置されていない村や地区が多くある現状を考えると、そうも言っていられません。

ますます街から離れた奥地の農村にSCHECの井戸掘り支援を広げていく必要性を強く感じた今回の現地視察活動でした。

理事 山崎喜宏



〔井戸の写真撮影に集ってくれた家族〕

4月24日にホテル JAL シティ四谷に於いて24名のご出席を戴き、懇談会が行われました。平成16年度(H16年11月とH17年3月)のカンボジア支援活動のご報告をし、皆様から貴重なご意見・ご感想を頂戴致しました。終了後、場所を移しての親睦会では、楽しい時を過ごすことができました。

懇談会 総会

去る6月26日、SCHEC定時総会が主婦会館プラザエフにおいて、会員32名の出席(うち代理出席21名)のもとで開催され、前年度決算・新年度予算案が承認されました。また、今回は役員改選期に当たるため、理事6名(再任)と監事1名(新任)が選任されました。宜しくお願いします。

カンボジア歯科診療活動

** 日本国内での研究発表・講演など様々な取組み **

最優秀賞受賞!

= 埼玉歯科医学大会一般講演の部 =
05年2月20日(日)、彩の国すこやかプラザで開催された「平成16年度埼玉県歯科医学大会」に於いて、04年11月の歯科診療活動でご尽力下さった歯科衛生士さんのグループが「一般講演」の部で最優秀賞を受賞されました。



授賞式にて

受賞されたのは、内田歩さん、斉藤典子さん、井上弘美さん、山崎弘美さんの4名。演題は『カンボジアにおける歯科口腔衛生活動』です。

この大会は参加者300名を超える盛大なもので、「一般講演」10題、「ポ

スター発表」15題もの発表があり、その中での受賞でした。おめでとうございます。

今回は3校の学校を訪問して531名の児童に対して指導を行った。(中略)現地の人々の生活、価値観や習慣などをよく理解し、一方的な指導や押し付けにならないよう、コミュニケーションをとることがとても大切だと思われた。まだ始まったばかりの活動だが、言葉の壁、習慣、水の問題、時間の制約、マンパワーの確保、その他難しい問題が今後の課題として山積みである。歯科保健活動において歯科診療が中心になりがちだが、今後、歯科口腔衛生活動にも力を入れ、2本の柱として展開していく必要があると思われる。

【リポートより一部抜粋】

地域活動を通して

歯科医師の鴨志田裕子会員が、お住まいの常陸太田市の生涯学習センターにて講演されました。

『私の見てきたカンボジア 歯科医療のボランティアをとおして』というテーマに、約90名もの参加者が熱心に耳を傾けて下さり、現地の衛生状態について等、多くの質問が出たそ

ご報告

~ シアン・ナム氏来日 ~

当会が現地で全面的サポートを受けているカンボジア国会議員・シアン・ナム氏を囲む来日歓迎会が、4月3日都内で開催されました。当日は、現地種参加者多数が出席して、ナム氏らご家族一行とカンボジアでの思い出話に花を咲かせました。

うです。さらに、カンボジア歯科診療ボランティアの趣旨にご賛同下さった同センターの所長さんより、ご協力のお申し出がありました。募金箱の設置の他、生涯学習センターの広報誌に、歯ブラシ・タオルの募集記事を掲載して戴けるとのこと。「こうした一步一步が大きな歩みにつながりますね。」と鴨志田会員。地域での広報活動は、カンボジア支援活動の輪を大きく広げる機縁となることでしよう。

〔現地での歯科検診のようす〕



SCHECのスケジュール帳

05年11月23日~28日
カンボジア支援活動
(歯科診療・開校式・井戸視察)
06年3月
カンボジア支援活動

事務局便り

シムリアップで起こった学校人質事件には、本当にびっくりしました。普段のシムリアップの街は、とても穏やかで、日本のほうが危険なくらいに思っていたものですから。事件の背景に貧困や貧富の差があるとしたら、それが戦争に起因するものだとしたら…。戦争が社会に残す傷跡の深さを思い、改めて世界の平和を祈らずにはいられません。【7】



SCHEC写真館

~ 野に咲く花 ~